

全国学力・学習状況調査について

泉佐野市立第二小学校

1. 調査の目的

- 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

平成28年4月19日（火）

3. 調査の対象

小学校第6学年，全児童
実施児童数（109人）

4. 調査の内容

(1) 学力に関する調査

ア 教科は、国語及び算数。

イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、主として知識・技能に関する内容（A問題）と、それらを活用する力などに関する内容（B問題）とする。

ウ 出題形式については、選択式及び短答式に加え、記述式の問題とする。

(2) 学習状況に関する調査

調査する学年の児童を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するアンケート調査（以下「児童アンケート調査」という。）を実施する。

(3) 学校の取組みに関する調査

調査対象の児童が在籍する学校を対象に、学校における教育条件の整備状況や指導方法等に関するアンケート調査（以下「学校アンケート調査」という。）を実施する。

平成28年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国とほぼ同じ状況にあるが、全国と比べて上位層がやや少ない。
平均正答率（本校 70.3／泉佐野市 69.5／大阪府 71.3／全国 72.9）

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国とほぼ同じ状況にあるが、全国と比べて下位層上位層共にやや少ない。
平均正答率（本校 54.2／泉佐野市 52.4／大阪府 55.4／全国 57.8）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

| 国語A | 特徴がみられた設問 |
|---|--|
| <p>【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】</p> <p>○学年別配当表に示されている漢字を正しく読むことについては、出題された漢字によって正答率に差があるものの概ねできている。正しく書くことについては、出題された漢字によって差があり、課題がある。</p> <p>1-2 お年玉を貯金する（→ちよきん） (99.1/98.5)</p> <p>1ニ1 アサガオのたねをまく（→種）(88.1/87.5)</p> <p>1ニ3 先生にそうだんする（→相談）(56.9/64.2)</p> <p>○用紙全体との関係に注意し、文字の大きさや配列などを決めることについて、国に比べ正答率が低い。</p> <p>7アイ 毛筆で書いた(一)と(二)を書き直した際、注意した点として適切なものを選択する。 (76.1/81.2)</p> | <p>○平仮名で表記されたものをローマ字で書くことについて、課題がある。</p> <p>8-1 ローマ字を書く（りんご）（45.0/53.2）</p> <p>8-2 ローマ字を書く（あさって）（33.9/41.8）</p> <p>【読むこと】</p> <p>○目的に応じて図と表とを関係づけて読むことについては、概ねできている。</p> <p>5 公園案内図とパンフレットにある表とを関係づけて読み、希望に合うものを選択する。 (93.6/93.1)</p> |

| 国語B | 特徴がみられた設問 |
|---|---|
| <p>【話すこと・聞くこと】</p> <p>○質問の意図を捉えることについて、やや課題があり、国に比べ正答率も低い。</p> <p>1ニ スーパーマーケットの店長への質問の意図として適切なものを選択する。(41.3/51.1)</p> <p>【書くこと】</p> <p>○グラフを基に、分かったことを的確に書くことについて課題がある。</p> <p>2一 「早ね早起き」活動の課題について、(図1)の結果を基に書いた内容として適切なものを選択する。 (37.6/43.4)</p> <p>【読むこと】</p> <p>○目的に応じて、本や文章を比べて読むなど、効果的な読み方を工夫することについて、国に比べ正答率が低い。</p> <p>3ニ 「パン職人」に関する複数の資料の内容を関係づけてまとめたものとして適切なものを選択する。 (72.5/77.9)</p> | <p>【書くこと】【読むこと】</p> <p>○目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むことについて、やや課題があり、国に比べ正答率が低い。</p> <p>3三 「パン職人」について、紹介したい内容をまとめて書く。 (45.9/52.9)</p> |

3. 学習状況調査より

| 質 問 項 目 | 本校 | 全国 | 10%○ 5%◇ | 差 |
|--|------|------|-------------|-----|
| 国語の授業の内容はよく分かりますか | 45.5 | 36.3 | ◇ | 9.2 |
| 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか | 50.9 | 57.9 | ◇ | 7.0 |
| 国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫していますか | 15.2 | 20.8 | ◇ | 5.6 |
| 今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありました。どのように解答しましたか | 65.2 | 75.1 | ◇ | 9.9 |

※上記の数値は児童質問紙の各項目の選択肢「1」の割合

○平仮名（特に、捉音・撥音）をローマ字に直す問題に弱いので、ローマ字を書く機会を増やす取り組みを設けたい。

○文章を読解する際、長文になるほど解答率が低くなる傾向にある。たくさんの文章を読み、徐々に長文に慣れることが必要と考える。

○文章で解答する問題に、苦手意識がある。まずは文章の内容を捉えること、そして書きたい内容を落とさずに書けるように、テーマを決めて短文にまとめる活動を継続的に取り組むことなどが有効と考える。

平成28年度全国学力・学習状況調査の分析（算数）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- 平均正答数の全体的な分布状況は、全国とほぼ同じ状況にあるが、全国と比べて上位層がやや多い。
平均正答率（本校 80.3／泉佐野市 75.0／大阪府 76.9／全国 77.6）

「B区分問題」

- 平均正答数の全体的な分布状況は、全国とほぼ同じ状況にあるが、全国と比べて下位層がやや少なく、上位層がやや多い。

平均正答率（本校 50.2／泉佐野市 44.0／大阪府 45.8／全国 47.2）

2. 学力状況調査より（本校正答率／全国正答率）

| 算数A | 特徴がみられた設問 |
|---|---|
| <p>【数と計算】 ○基礎的な計算は、概ね理解できている。 2（1）繰り下がりのある減法の計算をすることができる。 (97.2／90.9) 2（2）末尾のそろっていない小数の加法の計算をすることができる。 (84.4／77.1) 2（3）小数の除法の計算をすることができる。 (86.2／77.7) 2（4）乗法が整数である場合の分を計算し、約分することは、概ねできている。 (86.2／87.0) ○数の大小関係を概ね理解できている。 3（1）二つの数の大小関係を表す不等号を書く。 (96.3／96.7)</p> <p>【量と測定】 ○三角形の底辺と高さ関係について概ね理解できている。 5 三角形の底辺に対応する高さを選ぶ (85.3／82.0)</p> | <p>【図形】 ○図形の構成要素に着目して、図形を構成することが概ね理解できる。 6 4枚の三角定規でつくることができる形を選ぶ。 (80.7／79.6)</p> <p>【図形】 ○直方体における面と面の位置関係を概ね理解できている。 7 直方体において、示された面に垂直な面を選ぶ。 (82.6／78.0)</p> <p>【数量関係】 ○グラフを読み取り、その値について、百分率で表すことは、概ね理解できている。 9（2）1を超える割合を百分率で表す場面において基準量と比較量の関係を理解している。 (60.6／50.9)</p> |

| 算数B | 特徴がみられた設問 |
|--|--|
| <p>【数と計算・数量関係】</p> <p>○示された条件を基にほかの正方形について検討し、同じきまりが成立つかを調べることは概ねできている。</p> <p>1 (1) 1辺が9 cmの正方形縦と横長さを変えたときの面積を求める式と答えして、ふさわしい数値の組み合わせを書く。(90.0/92.6)</p> <p>○示された条件に対して、数値を当てはめて計算することは、全国の平均に比べできている。</p> <p>2 (2) 示された式に数値を当てはめて、目標のタイムを求めることができる。(59.6/50.5)</p> <p>○示された式の中の数値の意味を理解し、それを記述することに課題がある。</p> <p>2 (3) 目標のタイムを求める式の中の0.4や0.3が表す意味を書く。(19.3/15.6)</p> <p>【図形】</p> <p>○正方形に内接する円の半径について概ね理解している。</p> <p>3 (3) 1辺が9 cmの正方形に内接する円をかくために、コンパスの鉛筆の先を合わせる位置を選ぶ。(80.7/76.5)</p> <p>○示された除法の式を並べてできた形と関連付け、角の大きさを基に、式の意味の説明を記述することに課題がある。</p> <p>5 (1) 示された形をつくることができることを説明する式の意味を、数や演算の表す内容に着目して書く。(8.3/6.9)</p> | <p>【量と測定・数量関係】</p> <p>○単位量当たりの大きさについて、どのような情報があれば求めることができるかについては、全国の平均に比べできている。</p> <p>4 (1) 単位量当たりの大きさを求めるために、ほかの必要な情報を判断し、特定することができる。(56.0/48.3)</p> <p>【数量関係】</p> <p>○示された事柄について、検証することについては全国の平均に比べできている。</p> <p>4 (2) 示された事柄について、二つの表を基に読み取ることができない事柄を特定することができる。(75.2/70.7)</p> <p>○グラフから貸出冊数を読み取り、それを根拠に、示された事柄が正しくない理由を記述することに課題がある。</p> <p>4 (3) A小学校とBの図書委員会が表したグラフを見比べて読みとった事柄として正しくない事柄について、正しくないわけを書く。(22.9/24.9)</p> <p>【量と測定・図形】</p> <p>○1つの図形を多数並べて、どの図形ができるかを判断する問題については、課題はあるものの全国の平均に比べ、できている。</p> <p>5 (2) 図形を構成する角の大きさを基に、四角形を並べてできる形を判断することができる。(32.1/25.4)</p> |

3. 学習状況調査より

| 質 問 項 目 | 本校 | 全国 | 10%○ 5%◇ | 差 |
|---|------|------|-------------|-----|
| 算数の勉強は好きですか | 48.2 | 38.7 | ◇ | 9.5 |
| 算数の授業の内容はよく分かりますか | 56.3 | 46.7 | ◇ | 9.6 |
| 算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか | 57.1 | 50.7 | ◇ | 6.4 |
| 算数の問題の解き方が分からないときには、あきらめずにいろいろな方法を考えますか | 50.9 | 44.8 | ◇ | 6.1 |
| 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか | 61.6 | 67.6 | ◇ | 6 |
| 今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありましたか、どのように解答しましたか | 66.1 | 72.0 | ◇ | 5.9 |
| 調査問題の解答時間は十分でしたか（算数A） | 48.2 | 53.9 | ◇ | 5.7 |
| 調査問題の解答時間は十分でしたか（算数B） | 35.7 | 29.2 | ◇ | 6.5 |

※上記の数値は児童質問紙の各項目の選択肢「1」の割合

○基本的な問題はわりとよくできている。今後も家庭学習や朝学習などを活用して、基本的な計算力をつけさせていく。

○出題形式が違ったり、ひねった問題、問題文が長くなったりすると、正答率が下がる。応用問題に慣れていく必要がある。

○記述式の問題の正答率が低い問題があるので、授業の中で選んだ答えの理由を文章で書いたり、自分の考えたことを文章で書いたりして、考えを書く力をつけていく必要がある。

平成28年度全国学力・学習状況調査の分析（児童質問紙より）

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（例えば、1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない）

また、それ以外の質問は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものの中で、特徴的な項目を列挙した。さらに、下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きく特徴のある項目

| 設問内容種別 | 本校の状況 | 本校 < 本校回答率 / 全国回答率 > |
|-----------|---|---|
| 【家庭生活の様子】 | ○地域や社会で起こっている出来事に関心が低く、参加率も低い。新聞を読む意識は全国を上回っているものの、全体としては低い割合である。 | ○今住んでいる地域の行事に参加していますか <54.3/67.9> |
| | ○行動を起こす勇気を持つ児童が少ない。 | ○新聞を読んでいますか <31.3/24.0> |
| | ○自尊感情が高い。 | ○人が困っているときは、進んで助けていますか <78.5/84.6> |
| | ○11～12歳では、約8時間の睡眠が必要と考えられているが、11時以降の就寝は遅く睡眠時間の確保が十分でない。 | ○自分には、よいところがあると思いますか <87.4/70.5> |
| | ○1日当たりのテレビゲーム等の時間が長い。 | ○普段(月～金曜日)、何時ごろに寝ますか 午後11時以降<24.1/13.7> |
| | ○携帯電話、スマートフォンの所持率は高いが、使用率は低い。 | ○普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピューターゲーム、携帯式ゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか 2時間以上<39.3/29.7> |
| | | ○普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く) 持っていない<29.5/38.9> 全くしない<36.6/30.7> |

| | | |
|------------------|--|---|
| <p>【家庭学習の様子】</p> | <p>○家庭学習に関しては、自主的な学習をしている子が少ない。</p> <p>○休日の勉強量に関しては4時間以上勉強している子と全くしない子の割合が高くなっていて、二極化が見られる。</p> <p>○学習塾に通う児童が多く、学校よりも難しい内容や進んだ内容をしている。</p> <p>○授業以外で、進んで読書をする習慣が身に付いていない。</p> <p>○読書量の個人差が大きい。</p> <p>○言われた課題はできるが、自分で計画して学習を進める力や経験が乏しい。</p> <p>○家庭で授業の復習をしている児童が少ない。</p> <p>○読書が「好きではない」と答えた割合が多く読書の習慣が定着していない児童が多い。</p> | <p>○学校の授業以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む） 30分より少ない<12.5/8.9> 全くしない<7.1/3.0></p> <p>○土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む） 4時間以上<10.7/6.7> 全くしない<22.3/10.2></p> <p>○学習塾（家庭教師を含む）で勉強をしていますか <①36.6/53.9 ②36.6/23.1></p> <p>○学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、読書をしますか 全くしない<25.9/20.6></p> <p>○昼休みや放課後、学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌はのぞく）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか 週に1回以上<9.0/16.4></p> <p>○家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか <54.5/62.2></p> <p>○家で、学校の授業の復習をしていますか <40.2/55.2></p> <p>○読書は好きですか 好き<68.8/74.6> 好きでない<31.3/25.2></p> |
|------------------|--|---|

| | | |
|--------------------|--|--|
| <p>【学校での学習の様子】</p> | <p>○学校での友達とのつながりを感じ、安心して学校生活をすごせている。</p> <p>○年度当初から継続してきた話し合いの成果が現れてきている。</p> <p>○情報収集・整理能力や経験が少ない。</p> <p>○学習の目標を理解して授業を受けているが、自分たちで学習内容を振り返る活動を行っていないと感じる児童が多い。</p> <p>○自分の思いを書いたり、説明したりして表現することが苦手な児童が多い。</p> | <p>○学校に行くのは楽しいと思いますか <92.0/86.3></p> <p>○友だちの前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか <66.2/53.3></p> <p>○学級会などの話し合いの活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめていますか <64.3/58.6></p> <p>○「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか <77.7/83.2></p> <p>○「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか <50.0/65.4></p> <p>○5年生までに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか 思う<67.9/76.1> 思わない<32.1/23.7></p> <p>○5年生までに受けた授業で扱うノートには学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思いますか 思う<94.6/87.9> 思わない<5.4/12.0></p> <p>○400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか 思う<69.6/60.4> 思わない<29.5/39.3></p> <p>○学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか 思う<61.1/54.8> 思わない<37.5/45.0></p> |
|--------------------|--|--|

本校の取組み

◎これまでの取組み

(1)「二小 伸びる子 10の力」

「生活をつくる力」・・・早寝・早起き・朝ごはん。身の回りの整理・整頓をしよう。時間を守ろう（5分前行動をしよう）

「学ぶ力」・・・前の日に自分で学習の用意をしよう。目と心と身体を向けて話を聞こう。わからないことは、聞いたり調べたりしよう。読書をしよう。

「社会力（なかよくする力）」・・・みんなにあいさつをしよう。思いやりのある言い方をしよう。友だちの良いところを見つけよう。

を目標に設定し、学校全体で取り組んでいる。

家庭の協力もあり、100%に迫る児童がほぼ毎朝の朝ご飯を食べて登校してくる。また、児童朝礼では、全児童が予鈴前に集合し、私語のない状態で児童朝礼を始められるようになってきた。普通の授業でも、チャイムを守ることで学習時間を確保できるように取り組みを進めている。

(2) 研究主題と研究体制

本校では、「言葉を大切にし、自ら考え、自ら表現し、伝え合う子どもを育てる」を研究主題に、全ての教科の中で「話し合い活動」を取り入れている。授業での話し合い活動を通して、各教科の目標達成に迫り、その中で児童が豊かな人間関係を築いていくことを目指して研究を進めている。児童の成長や実態に合わせ、自分の思いや考えを自分の言葉で伝えたり、相手の思いや考えを受け止めたりする活動を多く取り入れている。さまざまな活動を通し、互いの立場や考えを尊重したり、場に応じて適切に表現したりして、言語能力だけでなく豊かな人間関係を育むことを目指して取り組んでいる。

(3) 少人数・習熟度別指導

算数科の少人数指導や習熟度別指導は、「①児童一人ひとりの特性を理解し、個に応じた指導を行い、基礎・基本の定着をはかる。②つまずきの克服や学習意欲の向上につながるように、授業方法や授業体制を工夫し、自ら学び自ら考える力を育てる。」ことを目標にしている。

今年度、本校では、第3学年の算数科でTTの授業、習熟度別少人数分割授業と単純分割少人数授業を、単元ごと選択して実施している。第4～6学年の算数科では、単元ごとに習熟度別少人数分割授業と単純分割少人数授業を選択して行っている。学力を高めるために、話し合い活動を多く設定したり、教材を工夫したりして、より細やかな指導を行っている。また、単元の学習計画、学習進度、児童個々の評価等については、学年・学級担任と少人数担当教員とで、綿密な打ち合わせを行いながら指導を進めている。

(4) 校内学力テスト

5月と2月に本校で作成した「校内学力テスト」を第2学年から第6学年の全児童に実施している。

「校内学力テスト」の実施後は、分析を行い、本校の取組みの成果と課題の資料としている。課題については研究推進部会で取り上げ、児童の実態にあった指導体制・指導内容等について意見交換を行い、より効果的な学習指導が進められるよう取り組んでいる。

◎これからの取組み

国語科においては、読書の習慣について課題があること、長文の問題の正答率が低いことから、引き続き行い読書指導を行っていく。また、辞典の活用を随所に取り入れたり、語彙力を高めたりするとともに、多様な表現の仕方に興味を持たせる指導を行う。今回、ローマ字の書き取りに課題がみられたので、ローマ字を書く機会を多くすることも必要である。

毎年、記述式の問題の正答率が全国より低い傾向があるので、授業の中で選んだ答えの理由を文章で書いたり、自分の考えたことを文章で書いたりして、考えを書く力をつけていく必要がある。例えば、話し合いや討論の場で、発言内容の中から中心となる考えを聞き取り、理由や根拠などを短い言葉でメ

モなどに書き留めるような活動や、たくさんの情報の中から必要な情報を取り出し、その情報を分類したり関係付けたりする中で分かったことや自分が考えたことを書く活動などを増やしていきたい。

「話すこと・聞くこと」では、授業の中でグループでの話し合い活動を進めていくとき、司会の役割を理解した上で、立場や意図を捉えながら話し合いの観点を整理する指導を充実させていきたい。

算数科においては、5月に実施した「校内学力テスト」の分析結果から、本校の課題を職員が共通理解した上で日々の指導にいかしている。2月に実施する同テストにおいて、その成果が出るよう、引き続き指導を行っていく。

基礎的な知識や技能は比較的定着しており、日々の学習の成果が出ていると考えられる。しかし、「選択式問題」とその根拠を説明する力や自分の考えを表現する力等に課題がある。これらの課題解決に向けて、自分の考えを書く活動とともに、ペア学習やグループ学習を多く取り入れ、児童が自分の考えを表現する機会をより多く設定する必要がある。

また、個々の児童の成果や課題を確実に把握するために、算数アンケートを引き続き行っていく。課題を克服するため、より言語活動を充実させ、個に応じた指導のあり方の研究を進めていく。教材研究、単元の学習計画、学習進度、児童個々の評価については、学校全体で共通理解し、研究を進めていく。